

第 25 回 幹 事 会

平成18年10月2日

日 本 学 術 会 議

配布資料

資料 1 議事次第

資料 2 出席者一覧

資料 3 非公開審議事項

資料 4 第24回幹事会議事要旨

資料 5 諸報告事項

資料 6 審議事項

参考 1 科学者倫理の確立に向けて
声明「科学者の行動規範について」表出に際しての会長談話

参考 2 今後の予定

第 25 回幹事会議事次第

日 時 平成 18 年 10 月 2 日 (月) 17:30～

○ 新会長挨拶

議 題

I 非公開審議事項

1 委員会関係

- ・ 分野別委員会における分科会、小委員会の設置等及び委員会等の委員の決定 (提案 1)
- ・ 研究評価の在り方検討委員会の委員の候補者の決定 (提案 2)
- ・ 科学者委員会学協会の機能強化方策検討等分科会の委員の候補者の決定 (提案 3)
- ・ 日本学術会議中国・四国地区会議構成員の追加 (提案 4)

2 外部推薦依頼への回答

- ・ 賞受賞候補者の推薦 (提案 5)

II 各部からの審議状況報告

III 前回幹事会以降の諸報告

IV 審議事項

1 代表派遣実施 (18 年度 11 月実施分) (提案 6)

2 地区会議学術講演会の開催

- ・ 近畿地区 (提案 7)
- ・ 中部地区 (提案 8)
- ・ 九州・沖縄 (提案 9)

3 委員会主催シンポジウム等

- ・ シンポジウム「基礎研究と実用化研究の有機的連携を目指して
ー高品質畜産物に関わる研究からのメッセージー」 (提案 10)
- ・ 公開シンポジウム「変貌する農業と水問題」 (提案 11)
- ・ 市民公開シンポジウム「職域におけるメタボリックシンドローム対策
ー国民の心血管疾患予防に向けてー」 (提案 12)

4 国内会議の後援 (提案 13)

5 国際会議の後援 (提案 14)

IV その他

第 2 5 回 幹 事 会 （ 1 0 月 2 日 ） 出 席 者 一 覧

会 長	金 澤 一 郎
副会長	浅 島 誠
副会長	大 垣 眞一郎
副会長	石 倉 洋 子

第 1 部 部長	広 渡 清 吾
副部長	佐 藤 学
幹事	江 原 由美子
幹事	鈴 村 興太郎

第 2 部 部長	
副部長	唐 木 英 明
幹事	廣 橋 説 雄
幹事	鷲 谷 いづみ

第 3 部 部長	海 部 宣 男
副部長	土 居 範 久
幹事	河 野 長
幹事	小 林 敏 雄

事務局	西ヶ廣 局 長
-----	---------

諸 報 告 事 項

第 1	前回幹事会以降の経過報告	P. 1
1	審議付託等	P. 1
2	賞等の推薦	P. 1
3	国際会議の開催	P. 1
4	委員会委員の辞任	P. 1
第 2	各部・各委員会等報告	P. 2
1	部会の開催とその議題	P. 2
2	機能別委員会の開催とその議題	P. 2
3	分野別委員会の開催とその議題	P. 2
4	課題別委員会の開催とその議題	P. 5
第 3	総合科学技術会議報告	P. 6

第1 前回幹事会以降の経過報告

1 審議付託等

件 名	申 請 者	審議・付託先
第3回日本社会福祉学会政策・理論フォーラムの後援について	日本社会福祉学会	第一部

2 賞等の推薦

件 名	照 会 先	備 考
世界食糧賞	各部	照会中
2007年（第18回）及び2008年（第19回）福岡アジア文化賞	各部	第三部より推薦有り
カブリ財団による合意書の合意及び委員会委員	各部	照会中
日本国際賞推薦有資格者	各部	照会中

3 国際会議の開催

開 催 日	会 議 名	会 場
9月14日	2006年 AASSREC 理事会	日本学術会議講堂

4 委員会委員の辞任

日本学術会議会則第28条第2項の規定により、下記委員会等に所属していた委員の辞任が同委員会において承認されましたので、報告します。

第20期 研究評価の在り方検討委員会委員 大沢 真理

（平成18年9月22日付け）

第2 各部・各委員会等報告

1 部会の開催とその議題

(1) 第三部拡大役員会 (第6回) (9月26日)

- ①分野別委員会の活動について ②第三部会の活動について ③地方部会について
④10月2日及び3日の第三部会について ⑤その他

2 機能別委員会の開催とその議題

(1) 科学者委員会 (第12回) (9月27日)

- ①日本学術会議協力学術研究団体規程の改定 (案) の決定 ②日本学術会議協力学術研究団体の指定に係る必要な要件及び手続 (案) の決定 ③日本郵政公社による学術刊行物の指定に対する審査協力 (案) の決定 ④平成18年度日本学術会議主催公開講演会 (第3回) について ⑤地区会議構成員の交替について ⑥「学協会の機能強化方策検討等分科会」委員について

(2) 広報分科会 (第12回) (9月27日)

- ①前回 (7/26) の議事要旨 ②今後の編集方針 ③第20期和文リーフレット ④第20期和文パンフレット ⑤その他 (今後の会議日程の確認等)

(3) AASSREC 等分科会 (第5回) (平成18年9月14日)

- ①2006年AASSREC理事会 (2006年9月14日、日本学術会議) の開催について ②第17回AASSREC総会 (2007年9月27日～9月30日、名古屋) の開催について ③IFSS02006年ワークショップ (2006年10月10日～14日、フィリピン) への派遣について ④その他

3 分野別委員会の開催とその議題

第一部関係

(1) 史学委員会 国際歴史学会議等分科会 国際歴史学会議小委員会

(第2回) (9月25日)

- ①国際歴史学会議アムステルダム大会のセッションテーマ提案について ②日韓歴史家会議について ③その他

(2) 社会学委員会 (第5回) (9月25日)

- ①分科会の設置状況について ②協力学術研究団体との連携について ③今後の委員会活動について ④その他

(3) 心理学・教育学委員会 心理学教育プログラム検討分科会 (第1回) (9月26日)

- ①委員長の選出 ②今後の活動方針について ③その他

(4) 地域研究委員会 (第6回) (9月28日)

①委員の確認について ②各分科会の活動方針について ③国際学会の対応について ④今後の活動について ⑤その他

(5) 地域研究委員会 地域研究基盤整備分科会 (第2回) (9月28日)

①委員会と分科会の関係について ②役員の選出について ③今後の分科会の活動について ④関連学会への対応について ⑤その他

(6) 地域研究委員会 国際地域開発研究分科会 (第2回) (9月28日)

①委員会と分科会の関係について ②役員の選出について ③今後の分科会の活動について ④関連学会への対応について ⑤その他

(7) 地域研究委員会 地域情報分科会 (第2回) (9月28日)

①委員会と分科会の関係について ②役員の選出について ③今後の分科会の活動について ④関連学会への対応について ⑤その他

(8) 地域研究委員会 人類学分科会 (第2回) (9月28日)

①委員会と分科会の関係について ②役員の選出について ③今後の分科会の活動について ④関連学会への対応について ⑤その他

(9) 地域研究委員会 人文・経済地理と地域教育 (地理教育を含む) 分科会
(第2回) (9月28日)

①委員会と分科会の関係について ②役員の選出について ③今後の分科会の活動について ④関連学会への対応について ⑤その他

(10) 史学委員会 (第6回) (9月29日)

①史学委員会及び各分科会の活動について ②委員会委員の追加について ③その他

(11) 史学委員会 IUOAS分科会 (第4回) (9月29日)

①史学委員会及び分科会の活動について ②その他

(12) 史学委員会 IUHPS分科会 (第2回) (9月29日)

①史学委員会及び分科会の活動について ②その他

(13) 史学委員会 博物館・美術館等の組織運営に関する分科会
(第1回) (9月29日)

①史学委員会及び分科会の活動について ②役員の選出について ③その他

(14) 史学委員会 歴史・考古史資料の情報管理・公開に関する分科会
(第2回) (9月29日)

①史学委員会及び分科会の活動について ②その他

(15) 史学委員会 アジア研究・対アジア関係に関する分科会
(第2回) (9月29日)

①史学委員会及び分科会の活動について ②その他

(16) 史学委員会 歴史認識・歴史教育に関する分科会 (第2回) (9月29日)

①史学委員会及び分科会の活動について ②その他

(17) 史学委員会 国際歴史学会議等分科会 (第4回) (9月29日)

①史学委員会及び分科会の活動について ②その他

(18) 政治学委員会 (第3回) (10月2日)

①政治学委員会の今後の活動方針について ②分科会の活動について ③その他

(19) 第一部関連分野別委員会合同 人文社会科学と学術分科会

(第1回) (10月2日)

①役員の選出 ②冬季部会における公開シンポジウム「人文社会科学の学術における役割」(仮題)について ③今後の活動方針について ④その他

第二部関係

(1) 薬学委員会 薬学教育分科会 (第2回) (9月25日)

①シンポジウムについて ②その他

(2) 健康・生活科学委員会 生活科学分科会 (第2回) (9月26日)

①分科会設置目的について ②委員長(交代)及び幹事の選出について ③今後の活動について ④その他

(3) 基礎生物学委員会・応用生物学委員会合同生態科学分科会 (第2回) (9月27日)

①分科会副委員長、幹事の選任について ②今後の運営方針について ③検討事項について ④国連のミレニアム生態系評価計画等について ⑤その他

(4) 健康・生活科学委員会 看護学分科会 (第2回) (9月29日)

①看護学分科会の趣旨・経緯 ②第1回看護学分科会の報告 ③幹事の選出 ④看護学分科会の今後の方針・計画 ⑤看護学構造に関する議論

・南委員、太田委員、草間委員からの私案提示

・委員による議論

⑥今後の日程の計画 ⑦その他

第三部関係

(1) 総合工学委員会・機械工学委員会合同 科学技術イノベーション力強化分科会
(第3回) (9月25日)

①今後の活動について ②その他

(2) 土木工学・建築学委員会 (第7回) (9月26日)

①土木工学・建築学委員会の組織・運営方針・活動内容について ②その他

- (2) 物理学委員会・地球惑星科学委員会・化学委員会・総合工学委員会・基礎生物学委員会・応用生物学委員会合同基礎科学の大型計画のあり方推進方策検討分科会
(第2回) (9月27日)

①今後の活動方針について ②その他

- (4) 地球惑星科学委員会 地球・人間圏分科会 (第3回) (9月29日)

①今後の活動方針について ②その他

- (5) 数学委員会 (第2回) (9月29日)

①今後の活動方針 ②その他

4 課題別委員会の開催とその議題

- (1) 学術とジェンダー委員会 拡大役員会 (第1回) (9月22日)

①生物学史からみたジェンダー (小川眞理子氏 講演) ②脳と性、セックスとジェンダー (田中富久子氏 講演) ③その他

- (2) 研究評価の在り方検討委員会 (第1回) (9月22日)

①本委員会設置理由説明 ②委員の自己紹介 ③委員長、副委員長、幹事の選出 ④科学技術振興調整費「基礎研究評価のあり方」の報告 ⑤本委員会ですり上げるべき課題の検討 ⑥次回の日程の検討

第3 総合科学技術会議報告

1 本会議

*第59回

9月22日

(1) 小泉内閣の科学技術創造立国への歩み

(2) その他

2 総合科学技術会議有識者議員会合

・ 9月28日

審 議 事 項

提案 6	平成 18 年度代表派遣（平成 18 年 11 月実施分）	P. 1
提案 7	日本学術会議近畿地区会議学術講演会の開催	P. 3
提案 8	日本学術会議中部地区会議学術講演会の開催	P. 4
提案 9	日本学術会議九州・沖縄地区会議講演会の開催	P. 5
提案 10	シンポジウム「基礎研究と実用化研究の有機的連携を目指して ー高品質畜産物に関わる研究からのメッセージー」の開催	P. 6
提案 11	公開シンポジウム「変貌する農業と水問題」の開催	P. 8
提案 12	市民公開シンポジウム「職域におけるメタボリックシンドローム対策 ー国民の心血管疾患予防に向けてー」の開催	P. 9
提案 13	国内会議の後援	P. 10
提案 14	国際会議の後援	P. 11

6	
幹事会	25

提 案

平成18年度代表派遣について（平成18年11月実施分）

- 1 提案者 会 長
- 2 議 案 標記について、別紙のとおり実施すること。
- 3 提案理由 「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」第19条の規定に基づくものである。

<参考>「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」（抄）

（派遣者の選考）

第19条 会長及び関係委員長は、幹事会で承認された派遣実施計画に基づき、代表を派遣すべき会議等（以下「代表派遣会議」という。）のそれぞれの内容等に応じて、学術会議会員（以下「会員」という。）の中から適任者を選考し、様式第7に定める代表派遣会議候補者推薦書により派遣候補者を会長に推薦するものとする。ただし、学術会議連携会員（以下「連携会員」という。）の中に適任者があると認められる場合は、その者を候補者として推薦することができる。

- 2 会長は、前項の規定により推薦された派遣候補者について、原則として代表派遣会議が開始される日の1か月前までに開かれる幹事会の議決を経た上、学術会議の代表として派遣される者（以下「派遣者」という。）として派遣するものとする。

番号	国際会議等	派遣日数		開催地及び用務地	派遣候補者 (職名)	備考
		会期分	計			
57	地球環境変化:地域的な挑戦 ESSP 地球環境変化 公開会議	11月9日	4 日	北京	久保 幸夫	地域研究委員会・環境学委員会・地球惑星科学委員会合同IHDP分科会 特別派遣
		~ 11月12日		中国	連携会員 創価大学教育学部非常勤講師	

7	
幹事会	2 5

提 案

日本学術会議近畿地区会議学術講演会の開催

- 1 提案者 科学者委員会委員長
- 2 議 案 標記講演会を下記のとおり開催すること。

記

- 1 主 催 日本学術会議近畿地区会議
- 2 日 時 平成18年11月14日（火）～15日（水）
- 3 会 場 けいはんなプラザ
- 4 次 第
 - 「がん・生活習慣病対策の最前線
～『世界の粒子線がん治療の最新動向と革新への期待』を中心として～」
11月14日
 - (1) 基調講演
 - ① 「がん治療の最前線」（仮題）
土屋 了介（国立がんセンター中央病院 院長）
 - (2) 講 演
 - ② 「レーザー加速と粒子線治療」（仮題）
田島 俊樹（（独）日本原子力研究開発機構関西光科学研究所長）
 - ③ 「世界の粒子線がん治療の現状」（仮題）
日米独からの現状報告 3件
 - (3) パネル討論「粒子線がん治療の技術革新への期待」
11月15日
 - (4) レーザー駆動粒子線加速先端技術セッション
日米仏露からの研究発表 7件
 - (5) パネル討論「がん・生活習慣病対策の最近の話題と効果的予防」

8	
幹事会	25

提 案

日本学術会議中部地区会議学術講演会の開催

- 1 提案者 科学者委員会委員長
- 2 議 案 標記講演会を下記のとおり開催すること。

記

- 1 主 催 日本学術会議中部地区会議
- 2 日 時 平成18年11月17日（金） 13：00～16：00
- 3 会 場 三重大学講堂 小ホール
- 4 次 第
 - (1) 開会挨拶
豊田 長康（三重大学長）
 - (2) 日本学術会議第149回総会報告
後藤 俊夫（中部地区会議代表幹事）
 - (3) 科学者との懇談
 - (4) 講 演
 - ① 「深宇宙探査の最前線」（仮題）
岡村 定矩（東京大学理事・副学長）
 - ② 「医学研究の社会貢献
ー日本におけるトランスレーショナルリサーチの課題ー」（仮題）
珠玖 洋（三重大学大学院医学系研究科教授）
 - (5) 閉会挨拶
後藤 俊夫（中部地区会議代表幹事）

9	
幹事会	25

提 案

日本学術会議九州・沖縄地区会議学術講演会の開催

- 1 提案者 科学者委員会委員長
- 2 議 案 標記講演会を下記のとおり開催すること。

記

- 1 主 催 日本学術会議九州・沖縄地区会議
- 2 日 時 平成18年11月22日（水） 14：10～16：00
- 3 会 場 大分第2ソフィアプラザビル 2階 ソフィアホール
- 4 次 第
 - (1) 開会挨拶
日本学術会議会長
羽野 忠（大分大学長）
 - (2) 講 演
「学際領域の連携による地域医療の推進」
 - ① 「地域医療を基盤とする先端的癌研究の推進」（仮題）
守山 正胤（大分大学医学部教授）
 - ② 「医療デバイス用高機能材料の創製」（仮題）
佐久間俊雄（大分大学工学部教授）
 - (3) 閉会挨拶
未 定（九州・沖縄地区会議構成員）

1 0	
幹事会	2 5

提 案

シンポジウム「基礎研究と実用化研究の有機的連携を目指して ―高品質畜産物に関わる研究からのメッセージ」の開催

1. 提案者 生産農学委員会委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

記

1. 主 催 生産農学委員会畜産学分科会、農業技術研究機構畜産草地研究所
2. 日 時 平成18年11月10日（金）10：00～17：00
（11月9日（木）13：00～18：00 畜産学分科会開催）
4. 場 所 エポカルつくば（つくば国際会議場）
5. 次 第

我が国の農業もグローバル化の流れに取り込まれつつある。そのような背景から、畜産物のさらなる高品質化と消費拡大は、畜産分野における緊要の課題であり、その実現のためには革新的な基礎研究の展開と実用化研究との有機的な連携が必要である。そこで、近年の高品質畜産物生産技術にかかわる研究を基礎から応用まで広く俯瞰し、近未来の技術開発方向とその開発体制、特に基礎研究の成果をどのようにして応用研究に受け渡していくかについて議論する。

（1）挨拶（10:00－10:15）

畜産草地研究所長（連携会員、農研機構理事） 柴田正貴
日本学術会議会員（畜産学分科会委員長、京都大学教授） 矢野秀雄

（2）高品質畜産物生産に資する基礎研究の展開（10:15－12:15）

座長：東北大学教授 山口高弘

- 1) 新しい牛肉品質評価研究の展開方向……………畜産草地研究所チーム長 千國幸一
- 2) 牛の脂肪細胞分化・形成、その過程での重要な遺伝子の発現……

信州大学助教授 盧 尚建

- 3) 筋肉脂肪含量の高い豚に関わるゲノム解析の成果……………

農業生物資源研究所ユニット長 栗田 崇

- 4) アミノ酸制御による食肉中の呈味成分の変化……………新潟大学助教授 藤村 忍

〈 昼 食 〉

(3) あたらしい実用化技術研究の展開 (13:15-15:15)

座長：畜産草地研究所部長 松本光人

1) 飼料イネ WCS 給与による高品質牛肉生産……畜産草地研究所チーム長 三津本充

2) 食品リサイクル飼料を活用した霜降り豚肉生産技術の実用化……

兵庫県農林水産技術総合センター主任研究員 設楽 修

3) アミノ酸制御による霜降り豚肉生産……畜産草地研究所上席研究員 勝俣昌也

4) 地鶏肉のトレーサビリティ……畜産草地研究所主任研究員 高橋秀彰

〈 休 憩 〉

(4) パネルディスカッション (15:35-16:50) ……座長：京都大学教授 矢野秀雄

畜産草地研究所 勝俣昌也

パネリスト：山口高弘（東北大学教授）、鈴木啓一（東北大学助教授）、古瀬充宏（九州大学教授）、入江正和（宮崎大学教授）、松本光人（畜産草地研究所）

(5) 閉会挨拶 (16:50-17:00) ……

日本畜産学会理事長（連携会員、日本大学教授） 泉水直人

1 1	
幹事会	2 5

提 案

公開シンポジウム「変貌する農業と水問題」の開催

1. 提案者 農学基礎委員会委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

記

1. 主 催 農学基礎委員会水問題分科会、同委員会地域総合農学分科会、
東京大学大学院農学生命科学研究科
2. 日 時 平成18年11月10日（金）13：00～17：00
4. 場 所 東京大学農学部3号館4階教授会室
5. 次 第

開会挨拶 宮崎毅（日本学術会議連携会員、水問題分科会委員長）

- 1) 公益性と資源保全：連携会員（三野徹、渡邊）
- 2) 新たなガバナンスの構築：連携会員（虫明、三野徹、佐藤洋平）
- 3) 変貌する農業：連携会員（宮崎毅、佐藤文彦、三野徹）、会員（池田）
- 4) 生態系における持続的水管理：連携会員（佐藤文彦、太田猛彦）
- 5) 水の科学：会員（中西友子）、連携会員（大下誠一、宮崎毅、岩元）

（開催主旨）水問題分科会は、農学における水問題の重要性を再確認し、「水のミクロ科学」から「地球規模の水問題」まで幅広く水問題を提起し、これらを解決するために、既存の物的、人的、制度的資源の活用戦略を提言することを目的としている。農学における水問題は、地球人口の増大に対応する食料生産及び地球環境変動下での水資源問題として、より深刻さを増し、ヴァーチャルウォーターを農産物の形で輸入している我が国は、水資源の確保とその合理的使用を進展させる必要がある。これは、エネルギー、資源とともに我が国の安全保障上の戦略的課題になる。具体的には、1) 水資源の公益性を最大限に発揮する優れた制度資本、組織水準、技術水準の保全と普及、2) 流域管理など新たなガバナンスの構築、3) 変貌する現代農業とそれに伴う水問題、4) 農耕地及び森林の生態系における持続的水管理システムの構築、5) 水の科学をベースとした持続的農業生産と環境保全、等を重点的に検討する。

1 2	
幹事会	2 5

提 案

市民公開シンポジウム「職域におけるメタボリックシンドローム対策
－国民の心血管疾患予防に向けて－」の開催について

1. 提案者 臨床医学委員会委員長
健康・生活科学委員会委員長
2. 議 案 標記シンポジウムを下記のとおり開催すること。

記

1. 主 催 日本学術会議 臨床医学委員会・健康・生活科学委員会合同
生活習慣病対策分科会
日本産業衛生学会
2. 日 時 平成19年4月25日（水）13：30～16：30
3. 場 所 大阪国際会議場5Fメインホール
4. プログラム

挨拶 松澤 佑次（住友病院院長、日本学術会議会員、日本学術会議臨床医学委員会・健康・生活科学委員会合同生活習慣病対策分科会委員長）

座長 廣部 一彦（みずほフィナンシャルグループ 大阪健康開発センター所長）
實成 文彦（香川大学医学部人間社会環境医学講座衛生・公衆衛生学教授、
日本学術会議連携会員）

報告者 下光 輝一（東京医科大学公衆衛生学講座主任教授、日本学術会議連携会員、
日本学術会議臨床医学委員会・健康・生活科学委員会合同生活習慣病対策分科会委員）

矢島 鉄也（厚生労働省健康局総務課生活習慣病対策室室長）
野口 緑（尼崎市役所国保年金課健康支援推進担当保健師）
上嶋 弘嗣（滋賀医科大学福祉保健医学教授）

1 3	
幹事会	2 5

提 案

国内会議の後援

- 1 提 案 者 会 長
- 2 議 案 後援の依頼について回答すること。
- 3 提案理由 下記の会議について、後援の依頼があり、関係する部に審議付託した結果を下記のとおり回答することとしたい。

記

○ 後援する

名 称 等	申 請 者	審議付託先
第 3 2 回全国語学教育学会年次国際大会 ① 主催：特定非営利活動法人 全国語学教育学会 ② 会期：平成 18 年 11 月 2 日～5 日 ③ 場所：北九州国際会議場	特定非営利活動法人 全国語学教育学会	第一部

1 4	
幹事会	2 5

提 案

国際会議の後援

1 提 案 者 会 長

2 議 案 国際会議を後援すること。

3 提案理由 下記の国際会議について後援の申請があり、「日本学術会議の行う国際学術交流事業の実施に関する内規」第38条に基づき、国際委員会（主催等検討分科会）において審議を行ったところ、適当である旨の回答があったので、後援することとしたい。
 なお、国際会議の概要は、別紙のとおりである。

記

第11回アジア太平洋呼吸器学会総会（APSR）

後援を希望する国際会議の概要

会 議 の 名 称	和文:第 11 回アジア太平洋呼吸器学会総会 英文:11 th Congress of the Asian Pacific Society of Respiriology (APSR2006)
開 催 時 期	平成 18 年 11 月 19 日 (日) ~ 22 日 (水) (4 日間)
開 催 場 所	京都府 (国立京都国際会館)
主 催 団 体	NPO 法人アジア太平洋呼吸器学会 (APSR)
共 催 団 体	財団法人結核予防会 社団法人日本呼吸器学会 (JRS)
母 体 団 体 等	和文 : アジア太平洋呼吸器学会総会 英文 : Asian Pacific Society of Respiriology
参加予定者数 [参加予定国]	国外 800 人 国内 1700 人 計 2500 人 [49 カ国]
会 議 内 容	教育セミナー、日本呼吸器学会卒後教育セミナー、招請講演、 特別企画シンポジウム、シンポジウム、ワークショップ、 ミニシンポジウム、ミート・ザ・エキスパート、一般演題 (口演・ ポスター)、ランチョンセミナー、イブニングセミナー等
会 議 議 事 録 等	学会開催の概要について事後報告する予定
開催経費の財源	参 加 費 84,900 千円 助 成 金 5,000 千円 寄 付 金 23,000 千円 その他 35,430 千円 計 148,330 千円
[募 金 団 体]	(窓口となる団体名) (財) 日本結核予防会
申 請 者	第11回アジア太平洋呼吸器学会総会 会長 福地 義之助
連 絡 責 任 者	三嶋理晃 (みしまみちあき) 京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学 教授

(案)

科学者倫理の確立に向けて

声明「科学者の行動規範について」表出に際しての会長談話

我々科学者は、科学と科学研究は、社会のために、そして社会とともにあることを強く認識しなければならない。国内外で起こった科学者の不正行為は、科学そのものの発展を妨げるだけでなく、科学や科学者コミュニティの社会からの信頼を大きく損なうことになりかねず、その防止は私たち科学者が自らの問題として取り組まなければならない重要な課題である。

日本学術会議は、我が国の科学者コミュニティを代表する立場から、こうした科学者の不正行為の防止に向け、第18期、第19期の「学術と社会常置委員会」において、対外報告「科学における不正行為とその防止について」及び「科学におけるミスコンダクトの現状と対策－科学者コミュニティの自律に向けて－」を取りまとめるなど、継続的に取り組んできた。昨年10月に発足した第20期日本学術会議においては、その一環として、全ての学術分野に共通する「科学者の行動規範」の作成を目指し、委員会を設置し、4月の総会での議論を踏まえて原案を公表し、大学・研究機関や学協会等を対象としたアンケート調査などで多くの意見を取り込むプロセスを経て、本年10月の総会で「科学者の行動規範について」（声明）を採択した。

大学・研究機関や学協会におかれては、この声明を参照して、不正行為の防止を自らの課題ととらえ、それぞれの機関・分野に応じた行動規範と倫理プログラムを策定・実施し、社会の信頼を得て、主体的かつ自律的な科学研究を進めていただきたい。

日本学術会議としては、科学者コミュニティにおける議論を喚起し、また、社会との対話を積極的に行い、科学と社会との健全な関係を築くよう引き続き努力する方針である。

平成18年10月 日
日本学術会議会長
金澤 一郎

○今後の予定

(1) 幹事会

- | | |
|-----------|-------------------------|
| ① 第26回幹事会 | 平成18年10月 3日 (火) 12:00から |
| ② 第27回幹事会 | 平成18年10月 4日 (水) 16:00から |
| ③ 第28回幹事会 | 平成18年10月26日 (木) 14:00から |
| ④ 第29回幹事会 | 平成18年11月22日 (水) 14:00から |
| ⑤ 第30回幹事会 | 平成18年12月21日 (木) 14:00から |
| ⑥ 第31回幹事会 | 平成19年 1月25日 (木) 14:00から |
| ⑦ 第32回幹事会 | 平成19年 2月22日 (木) 14:00から |
| ⑧ 第33回幹事会 | 平成19年 3月22日 (木) 14:00から |
| ⑨ 第34回幹事会 | 平成19年 4月 9日 (月) 総会終了後 |
| ⑩ 第35回幹事会 | 平成19年 4月10日 (火) 総会終了後 |
| ⑪ 第36回幹事会 | 平成19年 4月11日 (水) 委員会終了後 |

(2) 部 会

- ・ 平成18年10月 3日 (火)

(3) 連合部会

- ・ 平成19年 2月13日 (火)

(4) 総 会

- | | |
|--------------------------------|----------|
| ① 平成18年10月 2日 (月) から 4日 (水) まで | [秋の定例総会] |
| ② 平成19年 4月 9日 (月) から11日 (水) まで | [春の定例総会] |